

## 2012年度勇退選手

**渡邊 宏樹選手**  
(2008年入部  
・在籍5年)

【フラーテルで1番思い出に残っている試合は?】  
平成21年12月  
全日本選手権大会の対山梨学院の試合が1番印象に残っています。

もちろん優勝した事もすごく嬉しくて印象深いですが山梨学院に5点差以上とらないと決勝にも行けないしプレーヤーも14人と交代もほぼ無い状況でしたので1人1人が必死に勝ちに向かって一丸となってホッケーをしてたと思います。

【FRATER FAMILYの皆さんに一言】  
フラーテルファミリーのみならずこれからもフラーテルホッケーチームをよろしくお願ひします。  
電化製品はエディオンをお願いします!

【フラーテルで1番思い出に残っている試合は?】  
2010年全日本選手権決勝 対山梨学院大学  
母校である山梨学院大学と全日本選手権決勝という最高の舞台で試合が出来た為。  
勝って日本一になったという結果はもちろんです、私が大学時代に一緒にプレーしていた後輩達がすごく成長し自信を持ってプレーしていたことに喜びを感じました。  
私にとって、特別な日本一でした。

【FRATER FAMILYの皆さんに一言】  
フラーテルファミリーの方達の応援のなか、ホッケーを出来たことに本当に感謝しています。  
4年間、本当にありがとうございました。  
これからは指導者として、フラーテルで学んだことを活かし、大学生を育成していきたいと思ひます。

そして次のフラーテルさらには日本代表の選手を輩出出来ればと思ひます。

**三澤 孝康選手**  
(2009年入部  
・在籍4年)

**柴田 良選手**  
(2012年入部  
・在籍1年)

【フラーテルで1番思い出に残っている試合は?】  
2012年全日本選手権 vs 立命館大学  
人生初の「日本一」になった試合だからです。

【FRATER FAMILYの皆さんに一言】  
フラーテルファミリーの皆様こんにちは。いつも名古屋フラーテルを応援して頂きありがとうございます。さて、この度、私柴田は一身上の都合により平成25年4月を以て名古屋フラーテルホッケーチームを勇退する事となりました。在籍期間は1年余と必ずしも長い期間とは言えませんが、その間、恵まれた環境の中で、高いレベルでホッケーをする事ができ、「1年」という言葉からは想像できないほど多くの事を学ぶことができました。このような経験をする事ができたのは、日頃から応援してくださっているフラーテルファミリーの皆様のおかげだと思っております。今後はこの経験を活かし、自分の人生を燃やし尽くすべく頑張っていきます。1年間応援して頂き、本当にありがとうございました。

## 2013年度公式戦スケジュール

### ■高円宮杯 2013ホッケー日本リーグ

期間: 2013年4・5・9・11月

会場: 山梨(山梨学院ホッケースタジアム) 奈良(親里ホッケー場) 岐阜(岐阜県グリーンスタジアム)  
東京(法政大学多摩キャンパスホッケー場) 島根(三成公園ホッケー場)

節	日	期間	会場	試合開始	対戦相手	試合結果
第1節	第1日	4月13日(土)	山梨	14:50	レギュラーシーズン 山梨学院OCTOBER EAGLES	○ 5-1
	第2日	4月14日(日)	山梨	11:40	レギュラーシーズン 立命館大学ホリーズ	● 0-1
第2節	第3日	4月27日(土)	奈良	14:50	レギュラーシーズン 天理大学ベアーズ	
	第4日	4月28日(日)	奈良	11:40	レギュラーシーズン 福井クラブ	
第3節	第5日	5月3日(金・祝)	岐阜	13:20	レギュラーシーズン 東京農業大学	
	第6日	5月4日(土)	岐阜	13:20	レギュラーシーズン 小矢部RED OX	
第4節	第7日	5月11日(土)	東京	14:50	レギュラーシーズン 法政大学	
	第8日	5月12日(日)	東京	11:40	レギュラーシーズン 診療印刷	
第5節	第9日	9月7日(土)	島根	11:30	レギュラーシーズン 岐阜朝日クラブ	
	第10日	9月8日(日)	島根	13:20	レギュラーシーズン Selrio島根	
第6節	第11日	9月21日(土)	岐阜	13:20	レギュラーシーズン ALDER飯能	
	第12日	9月22日(日)	岐阜	11:00	順位決定戦 リーグ戦第4位 vs リーグ戦第5位	
プレーオフ	第13日	11月16日(土)	岐阜	13:00	順位決定戦 リーグ戦第3位 vs リーグ戦第6位	
			岐阜	11:00	準決勝戦 リーグ戦第2位 vs 3位、6位勝者	
	岐阜	13:00	準決勝戦 リーグ戦第1位 vs 4位、5位勝者			
	最終日	11月17日(日)	岐阜	11:00	3位決定戦 準決勝戦敗者 vs 準決勝戦敗者	
			岐阜	13:00	決勝戦 準決勝戦勝者 vs 準決勝戦勝者	

### ■男子第55回全日本社会人ホッケー選手権大会

期間: 2013年9月14日(土)~9月18日(水)

開催地: 長崎/長崎県立佐世保青少年の天地プレイグラウンド 川棚大崎自然公園交流広場

### ■第68回国民体育大会ホッケー競技

期間: 2013年10月1日(火)~10月6日(日)

開催地: 東京/日野市民陸上競技場 浅川スポーツ公園グラウンド

### ■第87回全日本ホッケー選手権大会

期間: 2013年11月28日(木)~12月1日(日)、12月7日(土)~8日(日)

開催地: 埼玉/飯能市阿須ホッケー場

次号Vol.18は  
7月頃発行予定

日本リーグ速報  
新人選手紹介  
平成25年度総会報告  
...etc



●発行元: 特定非営利活動法人愛知スポーツ倶楽部 ●発行人: 神戸 勝  
●事務局: 〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目2-11 ナビタ名灯ビル  
●編集人: 安井妙子 ●監修: 永井東一 ●愛知スポーツ倶楽部HP: <http://www.aichisportsclub.com/>  
●メール: [info@aichisportsclub.com](mailto:info@aichisportsclub.com) ●名古屋フラーテルHP: <http://www.frater.or.jp/>

©AICHI SPORTS CLUB ©NAGOYA FRATER HOCKEY TEAM  
この冊子に掲載されている全ての情報(文字、写真、イラスト等)及び全体は編集著作物として著作権の対象となります。許可無く引用・転載複製を行うことを禁じます。

FRATER FAMILY ONLY for MEMBERS

<http://www.frater.or.jp/>



Vol.17



# FRATER FAMILY

- 2013年度新チーム紹介
- 2012年度勇退選手
- 2013年度GAMEプレビュー
- 2013年度公式戦スケジュール

Vol.17  
2013.06

ONLY for MEMBERS





**部長・監督** 神戸勝 MASARU KANBE



(1)表示灯株式会社  
(2)愛知県(3)向陽高校→明治大学  
(6)1938年11月5日(74才)  
・1960年ローマオリンピック日本代表選手

**02 MF** 川上良平 RYOHEI KAWAKAMI



(1)ホンダロジコム株式会社(2)岐阜県(3)岐阜各務野高校→東海学院大学(4)2011年(5)9年(6)1989年1月25日(24才)

**03 FB** 粥川幸司 KOJI KAYUKAWA



(1)表示灯株式会社(2)岐阜県(3)岐阜総合学園高校→天理大学(4)2006年(5)15年(6)1984年1月11日(29才)

**04 MF** 小野知則 TOMONORI ONO



(1)金印株式会社(2)山形県(3)玉庭中学校→置賜農業高校→天理大学(4)2007年(5)17年(6)1984年4月26日(28才)

**05 MF** 中山康大 YASUHIRO NAKAYAMA



(1)表示灯株式会社(2)富山県(3)津沢中学校→天理高校→法政大学(4)2013年(5)10年(6)1989年9月4日(23才)

**06 FW** 河内伸仁 SHINJI KAWAUCHI



(1)株式会社トゥエンティ・ワン(2)大分県(3)玖珠農業高校→天理大学(4)2009年(5)12年(6)1986年12月2日(26才)

**07 GK** 森嶋彬 AKIRA MORISHIMA



(1)表示灯株式会社(2)岐阜県(3)各務野高校→山梨学院大学(4)2012年(5)8年(6)1990年1月17日(23才)

**08 MF** 塩川直人 NAOTO SHIOKAWA



(1)大阪シーリング印刷株式会社(2)滋賀県(3)伊吹山中学校→天理高校→山梨学院大学(4)2012年(5)16年(6)1989年9月27日(23才)

**09 FW** 藤本一平 IPPEI FUJIMOTO



(1)表示灯株式会社(2)山梨県(3)天理高校→早稲田大学(4)2013年(5)22年(6)1989年3月27日(24才)

**10 FW** 山部晃詞 KOSHI YAMABE



(1)表示灯株式会社(2)熊本県(3)小国中学校→小国高校→東海学院大学(4)2013年(5)11年(6)1990年8月7日(22才)

**11 MF** 川上啓 KEI KAWAKAMI



(1)株式会社名古屋銀行(2)奈良県(3)桜井東中学校→天理高校→天理大学(4)2007年(5)17年(6)1984年4月3日(28才)

**12 FW** 吉原平太 HEITA YOSHIHARA



(1)表示灯株式会社(2)栃木県(3)今市高校→天理大学(4)2013年(5)14年(6)1991年1月22日(22才)

**13 FB** 山下学 MANABU YAMASHITA



(1)株式会社杉本組(2)富山県(3)大谷中学校→石動高校→東京農業大学(4)2011年(5)14年(6)1989年2月4日(24才)

**14 FB** 長澤克好 KATSUYOSHI NAGASAWA



(1)表示灯株式会社(2)京都府(3)蒲生野中学校→天理高校→天理大学(4)2008年(5)19年(6)1985年10月31日(27才)

**16 FB** 畠山学 MANABU HATAKEYAMA



(1)朝日機器株式会社(2)富山県(3)石動中学校→天理高校→東京農業大学(4)2010年(5)16年(6)1987年5月25日(25才)

**17 FW** 橘敏郎 TOSHIRO TACHIBANA



(1)表示灯株式会社(2)福井県(3)朝日西中学校→天理高校→朝日大学(4)2010年(5)16年(6)1987年10月1日(25才)

**18 FB** 井島光希 HIROKI IJIMA



(1)表示灯株式会社(2)愛知県(3)愛知産業大学工業高校→東海学院大学(4)2012年(5)8年(6)1990年1月15日(23才)

**19 GK** 高瀬克也 KATSUYA TAKASE



(1)株式会社榎屋(2)栃木県(3)今市高校→天理大学(4)2006年(5)14年(6)1983年5月20日(29才)

**20 FB** 大野一平 IPPEI OHNO



(1)表示灯株式会社(2)埼玉県(3)飯能南高校→天理大学(4)2013年(5)7年(6)1990年12月1日(22才)

**フロント**  
GM 東谷博史  
チーフスカウト 錦織拓  
広報 石田繪美子

(1)所属  
(2)出身地  
(3)出身校  
(4)入部(就任)  
(5)ホッケー歴  
(6)生年月日  
(年齢※2013年4月1日現在)

2013年度名古屋フラテルホッケーチームは、日本代表としてリオオリンピック出場を果たす為に、新たなスタートを切る事となりました。一方で、これまで第一線で活躍していただいております9名のチームメイトが勇退されることとなりました。ここに、これまでのご活躍に敬意を表するとともに、チームへの貢献に対し深く感謝申し上げます。そして、私たちの誇るこの9名の勇退を、関係者の皆様に謹んでお知らせいたします。

**小澤和幸選手**  
(2001年入部・在籍11年)

【フラテルで1番思い出に残っている試合は?】  
2012年全日本選手権  
対立命館  
目標であった4冠達成は叶わなかったが、この大会は一人一人が同じ方向を向き、迷いも不安もないチームとして完璧な大会だったと思う。特に決勝はチーム一丸を感じられた幸せな試合、個人的にも優勝で終わる事が出来た思い出に残る試合になった。

【FRATER FAMILYの皆さんに一言】  
これまで支えて下さった皆様、本当にありがとうございます。心から感謝しています。この経験をもって今後は指導者としてホッケー界に貢献していければいいなと考えています。これからはフラテルを応援する側として支えていければと思っています。今後も名古屋フラテルホッケーチームの応援、宜しくお願い致します。

**坪内一浩選手**  
(2004年入部・在籍9年)

【フラテルで1番思い出に残っている試合は?】  
2009年の全日本選手権大会決勝の立命館です。フラテルは前年に9人の勇退者が出て厳しいシーズンで予想されましたが、少ない選手で前向きに取り組んできた、締めくくりの試合で前年に負けた立命館大学に完璧な内容でリベンジできた試合です。15人と少ないメンバーでしたが、一人一人が役割を全うし、遠藤監督をはじめ全員がポジティブかつアクティブにプレーでき、内容も結果も付いてきた試合でした。

【FRATER FAMILYの皆さんに一言】  
常勝フラテルのメンバーとして勝ち取った数々の日本一もそうですが、ファンの暖かく、時に厳しい声援が本当に励みになりました。メンバーが入れ替わっても、フラテルのプライド、魂は引き継がれていきます。四冠からは遠ざかっていますが、現在のメンバーなら四冠を果たしてくれると信じています。これからもフラテルに暖かい声援をよろしくお願いします。

【フラテルで1番思い出に残っている試合は?】  
まずは、表示灯ホッケーチーム時代の試合です。2002年全日本選手権大会 決勝  
表示灯ホッケーチーム VS 小矢部 RED OX  
入部1年目。決勝戦でFWとして2得点。優勝に貢献することができました。NHK放映もされていたので、その当時反響が大きかったように記憶しております。フラテル時代では、やはり  
2012年全日本選手権大会 決勝 VS 立命館大学  
引退を決めて臨んだ大会でもあり、前十字靭帯の怪我から復活してチームに恩返ししたかった試合でもありました。立命館大学さんにリベンジすることができ日本で締めくくられましたので感無。

【FRATER FAMILYの皆さんに一言】  
フラテルホッケーチームと一緒に盛り上げていきましょう。各種イベント会場や大会会場でも僕を見掛けましたら、お気軽に声を掛けて下さい。  
**古里竜二選手**  
(2002年入部・在籍10年)

【フラテルで1番思い出に残っている試合は?】  
2009年全日本選手権大会 決勝 対立命館大学戦  
2009年は前年に沢山の選手が勇退し、選手13名でシーズンをスタートさせた年でした。前年に比べ実力は劣るかもしれませんが、チームワークは私が入部してから一番良い年だと思います。決勝では、指を骨折して、ほとんど出場する事が出来なかったのですが、ベンチから見たフラテルのメンバーは頼もしくとても強いチームでした。予選突破が厳しい状態から勝ち上がり、日本リーグ、国体で勝てなかった立命館大学を破る事ができました。交代選手が少ない中での優勝はフラテルの本当の強さを証明できた試合だと思います

【FRATER FAMILYの皆さんに一言】  
長い間応援して頂きありがとうございました。これからは、私もフラテルを応援する側として皆さんと一緒にフラテルを盛り上げていきたいと思います。これからもよろしくお願いします。  
**福代勇太選手**  
(2006年入部・在籍7年)

**長岡俊輔選手**  
(2004年入部・在籍9年)

【フラテルで1番思い出に残っている試合は?】  
2012年全日本選手権  
決勝 対立命館大学戦  
選手兼コーチという立場で臨んだ大会で、私は「チームの為に自分は何をしたか」を見せて欲しいとチームメイトにお願いしました。チームのモチベーションさえコントロールする事が出来れば、必ず勝ると信じていました。戦術も上手くハマリ、とても雰囲気良く、楽しめた試合でした。

【FRATER FAMILYの皆さんに一言】  
FRATER FAMILYのみならず皆さんには、2012年度を以って名古屋フラテルホッケーチームを勇退致しました。長くフラテルに携わる事が出来て、とても感謝しています。これも、みなさんの応援があつての事だと思っています。ありがとうございました。これからは変わらず、フラテルを応援し盛り上げて頂ければと思います。そして、いつまでも記憶の中にフラテルの長岡俊輔が生きている事を願っています。

**猿養諭選手**  
(2008年入部・在籍5年)

【フラテルで1番思い出に残っている試合は?】  
2012年全日本選手権  
vs立命館大学  
フラテル最後の試合で気負いすることなく純粋にホッケーを楽しむ自分らしくプレーできました。また、試合前に長岡コーチが一人一人がなんでもいからチームに貢献してくれという指示があり、とにかく決めて貢献することを意識して試合に挑みました。それが結果に繋がったと思います。

【FRATER FAMILYの皆さんに一言】  
いつもご声援ありがとうございました。皆様の応援がとても力になりました。これからは自分もフラテルファンの一員です。一緒に日本のホッケー、名古屋フラテルを応援しましょう。

2013年度GAMEプレビュー(4月)

**HOCKEY JAPAN LEAGUE 第1節** 2013年4月13日(土) VS 山梨学院OCTOBER EAGLES (山梨・山梨学院ホッケースタジアム)

名古屋フラテルホッケーチーム **5** {前半3-1} **1** 山梨学院OCTOBER EAGLES {後半2-0}

高円宮杯2013ホッケー日本リーグ男子の開幕戦は、ホームである山梨学院OCTOBER EAGLESとの対戦。  
開始早々、山梨にPCを与えるも、フラテルは6分に取得したPCから#17橘がゴール左下に強烈なフリックを決め、先制する。続く11分#3粥川のパスを#11川上啓が合わせ、2-0。そして16分には細かいパスワークから新人#10山部が3点目を決め、山梨を引き離す。しかし、前半終了間際、山梨がサークル内に打ち込んだボールはフラテルDFによるオウンゴールとなり、3-1で前半を終える。  
後半は、両者共に度々カードによる警告が出される激しい攻防となるが、49分#13山下のセンタリングに#12川上啓が合わせ、4-1。更に、66分#17橘が追加点を挙げ、5-1で試合終了。粥川プレイングコーチによる指揮の下、開幕戦を白星で飾った。

**HOCKEY JAPAN LEAGUE 第1節** 2013年4月14日(日) VS 立命館大学ホリーズ (山梨・山梨学院ホッケースタジアム)

名古屋フラテルホッケーチーム **0** {前半0-0} **1** 立命館大学ホリーズ {後半0-1}

第2戦は、2年連続で日本リーグ王者の座を献上している立命館大学ホリーズとの対戦。フラテルは青のユニフォームで臨む。  
7分の立命館のPCは、GK#19高瀬がセーブする。対するフラテルも立て続けにPCを得るが、立命館の堅守にゴールを割ることはできない。その後も敵陣でプレーする時間は続くが、チャンスを生かすことができず0-0のまま前半を折り返す。  
後半は、互いに好機を伺いながらゆっくりとしたペースでスタートする。徐々に試合は激しさを増し、身体を張ったプレーが随所に見受けられる展開。試合が動いたのは51分、リバウンドに素早く反応した立命館が先取点を挙げる。1点のハイアンドを負ったフラテルは積極的な攻撃を見せるが、立命館の徹底的なマークとPCの決定力を欠き、0-1で2戦目にして黒星を喫した。